

令和4年度事業計画

(方針)

海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝に努め、海事知識の啓発を図るとともに、あわせて海事産業の発展を期することにより、海洋国家日本の経済社会の維持発展と国民生活の安定向上に寄与できるよう、次のとおり事業を実施します。

令和4年度の海事広報活動として、当協会の公益目的事業と（公財）日本海事広報協会及び（一財）日本モーターボート競走会からの受託事業を連携させ、「船との出会い事業」、「海の日」・「海の月間」関連行事広報、海の絵画コンクール、海の作文コンクール、海事知識の普及事業などの公益目的事業を実施するほか、その他の事業として海事関係の各種団体と連携し、海事知識普及資料のパンフレットや海事広報宣伝物等の配布などを行います。

依然としてコロナ禍にあり、未だに収束が見えない状況におきまして、全ての行事において新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、十分に安全対策を取った上で実施することとします。また、感染状況を鑑み中止となる行事があると思われませんが、出来る限り延期や代替案を用い事業の実施に努めます。

I. 公益目的事業

1. 体験活動等（事業区分4）

(1) 海洋教室

船との出会い事業

①校外学習等

（公財）日本海事広報協会からの受託事業として、県下の小学校3年生以上を対象に乗船体験及び海事産業関連施設の見学を行う校外学習を実施します。

②海事施設見学

神戸市内の小学生を対象に、貿易の仕組み、船で運ばれてきた貨物の流れ等を学習し、それらに携わる船員さん達の仕事及び操船シミュレーターを体験することによって海運に関心を持ってもらうことを目的に、神戸海事地域人材確保連携協議会主催のもと実施します。

④親子交流海洋教室

各種体験型プログラムを通じ、海への関心及び親しみを持ってもらうことを目的に兵庫県下の親子（小・中学生）を対象に神戸海事地域人材確保連携協議会主催のもと実施します。

⑤こども交流海洋教室

海洋国日本の次世代を担う子供たちが、体験型海洋教室を通じて一層海に親しみ、洲本地区の小学生達が交流することにより海への理解と親睦を深めることを目的に伊丹市、（一財）日本モーターボート競走会、神戸海事地域人材確保連携協議会共催のもと実施します。

＊神戸海事地域人材確保連携協議会

神戸の海事・教育関係者が協力し、青少年が海・船・港に親しむ機会の提供や学校教育と連携した海事教育の推進等に取り組み、海事産業の重要性の理解と将来の海事産業への進路の選択肢を広げてもらうことを目的に、国・地方自治体・海事関係団体・企業等が中心となり平成20年6月に設立された。

⑥出前授業

学校教育の場では生徒1人1台のIT端末の配布や学校のICT化（情報通信技術）環境の整備が進められていることを踏まえ、またコロナ禍によりデジタル・オンラインを活用した出前授業に取り組みます。

⑦市民クルーズ&海洋教室

海の重要性について理解を深めてもらうため、青少年や広く一般市民に対しても海事に対する正しい認識と関心を持ってもらうことを目的に神戸港内クルーズを実施し船内において海洋教室を実施します。

⑧「海事産業施設マップ」の作成

海事産業施設マップを海事施設見学会や海洋教室の参加者に配布し、海事意識啓発を図ります。

(2) 練習（帆）船入港観迎セレモニー

次世代を担う幼稚園児が練習（帆）船の入港に際して、船長・機関長・実習生代表に対して手作りのレイを贈呈するとともに歓迎の歌を披露し歓迎した後、実習生の案内で船内見学を行います。

(3) 「ひめじマリンフェスティバル」

海への関心及び親しみを持ってもらうことを目的に、（一財）姫路市まちづくり振興機構と共催のもとマリンフェスティバルを開催し、青少年を始め一般市民を対象に、ユーストレーニング及びミニクルージング等を実施します。

2. キャンペーン、〇〇月間（事業区分8）

(1) 「海の日」・「海の月間」関連行事広報

「海の日」の意義が国民各層に深く理解され定着するよう、7月の「海の月間」関連行事を広く一般市民に広報します。

また、（公財）日本海事広報協会からの受託事業と連携して、「海の日」・「海の月間」関連行事広報を推進するため、海事関係機関・団体等と協力し、事業の効果的な推進を図り、広く一般市民に海に関する関心を深めてもらい、国民の祝日「海の日」の意義（海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日）を理解してもらうため、周知広報活動を積極的に展開します。

(2) 「海の日」表彰候補者の推薦・「海の日」表彰

令和4年「海の日」を迎えるにあたり、神戸運輸監理部及び近畿地方整備局並びに第五管区海上保安本部の主催による「海事関係功労者表彰式典」海事関係功労者の表彰式が行われます。

当協会は、海事関係事業の従事者として永年勤続された方々の「海事関係功労者表彰」の候補者を推薦します。

また、姫路地区においても「姫路海の日協議会」が主催する表彰式典及び祝賀会の開催に協力し、海に対する意識の高揚を図ります。

3. 展示会、〇〇ショー（事業区分9）

(1) 海の絵画コンクール入賞作品展示会

兵庫県下の幼稚園児及び小中学生から絵画を募集し、幼稚園の部、小学校低学年の部、小学校高学年の部、中学生の部の入賞作品（金賞1点、銀賞3点、銅賞6点）計40点を展示します。（展示場所未定）

(2) 「海の日」ポスターコンクール入賞作品展示会

国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会主催の「海の日」ポスターコンクールの入賞作品（レプリカ）を展示します。（展示場所未定）

4. 表彰、コンクール（事業区分14）

(1) 海の絵画コンクール

次代を担う幼稚園児及び小・中学生に海や船への関心を高めてもらうとともに、海事知識の啓発に寄与するため、神戸運輸監理部、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会の後援により海に関する写生画・未来図などを画題とする絵画を募集し、審査会において幼稚園の部、小学校低学年の部、小学校高学年の部、中学生の部の入賞作品（金賞1点、銀賞3点、銅賞6点）と佳作約30点を選定します。

また、入賞作品については当協会発行の会報誌に掲載するとともにホームページにて公表します。（表彰式開催場所は未定）

(2) 海の作文コンクール

次代を担う小学生に海や船に対する関心を深めてもらい、海事知識の啓発に寄与するため、神戸運輸監理部、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会の後援により、（一財）日本モーターボート競走会からの受託事業と連携して、兵庫県各地の小学校生徒から、海運・造船・港湾といった範囲にとどまらず、広く海にかかわるものを題材とする作文を募集し、審査会において金賞1点、銀賞3点、銅賞6点、佳作を選定します。

（表彰式開催場所は未定）

5. 上記の事業区分に該当しない事業（事業区分18）

（1）海事知識の普及事業

「海の日」・「海の月間」関連行事やボートレース場等で行なわれている各種イベント会場などを活用して、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズ等の配布を行なうことにより、（一財）日本モーターボート競走会からの受託事業と連携した海事知識の普及事業を行います。

II. その他事業（相互扶助等の事業）

1. 神戸まつりパレード

我が国は周囲を海に囲まれ、古くから産業や生活文化などあらゆる面で海と深く関わり発展してきました。

神戸は生活の場と海・陸が近接した街で、他の都市にはない良さがあり多くの人達に「海の役割や大切さ」を知ってもらうため、港湾関係団体の協力を得て「うみ・みなとの仲間たち」のプラカードを先頭に、船をイメージしたフロートのほか神戸海洋少年団が手旗で交信し、関係団体によるカッターの牽引、セーラー帽を被ったみなとこっぺっ子の会も参加し、フラワーロード～三宮中央通り～大丸前まで行進します。

フロートの両側には環境保護をテーマに「みんなの力できれいな海」及び「海をきれいにしよう」の横断幕を掲げ海の大切さを訴えることとしています。

2. 海の日を祝う会

式典と連携し、海事関係団体の協賛をいただき、当協会が事務局を担当する「海の日を祝う会実行委員会」の主催により、海事関係者及び受賞者の皆さまとともに「海の日」を祝い、海からの恩恵及びそこに働く人たちに感謝する気持ち並びに海事産業の重要性を再確認するための啓発活動として「海の日」祝賀会を開催します。

3. 海浜・港湾の清掃

海事関係の各団体と連携し、（公財）日本海事広報協会の行う「海の日」における全国ビーチウォーク&クリーンアップ大作戦を実施し、海洋環境保護の啓発に努めることとします。

4. 他団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行・配布

海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の共催・協賛・後援等を行ないます。

- イ 各地区の海事関係団体が実施する「海の日」・「海の月間」行事
- ロ みなとまつり等の各港湾における行事
- ハ 神戸港繁栄安全祈願祭
- ニ みなとこっぺ海上花火大会
- ホ こうべ波止場まつり
- へ その他の海事広報活動

また、（公財）日本海事広報協会をはじめとする海事関係団体等で作成されたDVDやパンフレットなどの海事知識普及資料・グッズを各種イベント開催の機会等を活用して配布するとともに、会員の皆様と関係機関等に対し当協会会報誌を配布します。